

警察政策研究既刊目次

第12号(2008)

平成19年度の警察政策研究センターの主な活動

▼第1章<警察政策フォーラム>「これからの組織犯罪対策」

国際的な組織犯罪の増加との闘い

米国司法省刑事部組織犯罪対策課主任検事 ブルース・オー

組織犯罪の現状とFBIの対策

米国連邦捜査局ニューヨーク支局特別捜査官 ブライアン・ネイドゥ

パネリスト発表及びパネルディスカッションの概要

▼第2章

<警察政策フォーラム>「多機関連携による犯罪予防～少年非行対策を中心として」

犯罪予防のための多機関連携アプローチ

～イングランドとウェールズにおける少年非行対策～

ロンドン大学ロンドンキングスカレッジ収容政策研究国際センター所長

ロブ・アレン

少年非行の予防・減少と多機関連携～米国の場合を参考に

中央大学法科大学院教授 中野目 善則

パネリスト発表及びパネルディスカッションの概要

▼第3章<警察政策フォーラム>「外国人との共生と治安の確保」

文化的に同質な社会におけるマイノリティ政策：アイルランドの経験

アイルランド国立ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン社会学部長

アイゴーン・マルカーヒ

ドイツの犯罪抑止システムにおける外国人の犯罪者・被害者について

グライフスヴァルト大学法律経済学部教授

クリスティーネ・モルゲンシュテルン

パネリスト発表及びパネルディスカッションの概要

▼第4章<警察政策フォーラム>「市民生活の自由と安全・理論と実務の架橋」

問題提起

警察政策研究センター所長 田村 正博

我が国のテロ対策の現状

警察庁国際テロリズム対策課長 村田 隆

自由と安全は両立するか—リベラルなコミュニティの可能性を考える

駿河台大学法科大学院准教授 高橋 直哉

監視と自由の関係：事前規制と事後規制の違いを中心に

名古屋大学大学院法学研究科准教授 大屋 雄裕

パネルディスカッションの概要

▼第5章 <警察政策研究会>「危機管理とはなにか? G8サミットを中心として」

エビアンサミットにおける安全の確保

フランス国家警察装備計画局長 ルーク・ルドルフ

日米両国の行政組織における危機対処

(株)国際危機管理機構代表取締役社長 金重 凱之

▼第6章 論説

米国における取調べの録画録音について

元ハーバード大学ウェザーヘッド国際問題研究所客員研究員 金山 泰介

イギリスにおける被疑者取調べについて

元ポーツマス大学犯罪学研究所客員研究員 白川 靖浩

オーストラリアにおける修復的司法

～少年司法におけるカンファランシング及び隣接するダイヴァージョン制度について

元オーストラリア国立大学法学部客員研究員 大原 光博

平成19年度の警察政策研究センターの活動概要一覧

既刊目次一覧